

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
政策名	(Ⅲ)地域で支えあう暮らしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	保健福祉G	課長名	堀江健次
施策名	(17)健康づくりの推進	担当者名	柳 楽 恵	電話番号	0854-74-0215
目的	対 象 市民	意 図	心身ともに健康で暮らす。	(内線)	4418
基本事業名	(048)健康づくりの普及啓発	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 5 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 5 0 2	老人福祉施設管理事業 リフレッシュセンター運営事業	
目的	対 象 市民	意 図	健康に対する正しい知識を得、健康づくりに取り組む。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
ケアポートよしだの温水プールを活用し、住民が自主的に体力づくり活動に取り組む環境を、社会福祉法人よしだ福祉会に委託して実施する。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		温水プール利用者数 4158人	24年度に同じ			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 委託料の支払回数	回	2	2	2	2
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	市民	ア 雲南市の人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
	イ						
	ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	温水プールを使った健康教室や、健康づくり活動を自主的に行なってもらおう。	ア 利用者数	人	4,008	3,953	4,158	4,200
		イ 自主活動グループ数	団体	5	5	5	6
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
運営委託料	財源内訳	国庫支出金	千円			
・ 人件費 6,687千円		県支出金	千円			
・ 委託費、保守料 2,471千円		地方債	千円			
・ 燃料、光熱水費 2,166千円		その他	千円			
・ 消耗品 499千円		一般財源	千円	13,484	12,809	12,680
・ 雑費 857千円	事業費計(A)	千円	13,484	12,809	12,680	12,680
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3
		延べ業務時間	時間	160	160	155
		人件費計(B)	千円	622	631	607
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,106	13,440	13,287	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
利用者は、平成7年をピークに、近隣に類似施設が建設されたことや、合併後、利用料の見直しを行なったこと等により、年々減少してきたが近年横ばいの状況である。	事業費については、効率的な運営に努めてもらっているが、燃料費の高騰や施設の老朽化もあり大幅な削減が出来ない。	利用者からは、温水がきれいであり好評である。冬季間は運営効率が悪い為閉鎖しており、利用者の苦情がある。

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	保健福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 温水プールを活用した健康づくりの効果の広報活動及び、法人独自の運動教室などの開催と運営。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・自主的な健康づくりの出来る新たな施策が必要がある。 ・プール運営を廃止すると、水中運動による転倒予防の展開が出来なくなる。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 水中運動の効用は、ウォーキングと同様に酸素をいっぱい体内に取り込んで脂肪を燃焼させることや、筋力・持久力が向上することであり、水中では浮力のため楽に動くことができる。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・運営上大きな割合を占める燃料費や光熱水費は高止まりしたまま、元の水準に戻らず、大幅な経費の削減は困難。
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 職員の関わりは、現在最小であり、これ以上の削減は出来ない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 誰でも利用できる。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	水中運動の有効性は、旧吉田村で行ってきた「転倒予防事業」で確認され、「身体教育医学研究所うんなん」の開設を通して雲南市全体へ波及している。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>前期高齢者に対しては、現在転倒予防教室を開催しているが、中年層や女性を対象とした教室を開催し、水中運動の有効性をPRしている。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																							